



亀中だより

No. 18 令和3年9月17日 文責：岡田



For The Students!

8月31日に「令和3年度全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。本校でも結果を分析して、授業改善等に役立てていきます。学校だよりでは、1, 2 年生に実施した「みえスタディチェック」の結果と合わせて、数回に分けてお知らせさせていただきます。

「令和3年度全国学力・学習状況調査」結果より R3.5.27 実施

本年5月に3年生を対象に実施された「令和3年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。この調査は、生徒の学力学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。調査により測定できるのは学力の一部ではありますが、本校生徒の「確かな学力」の向上につなげてまいります。成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、取り組みをさらに充実させるべく、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



教科に関する調査結果

平均正答率	国語	数学
本 校	59	52
三重県	63. 0	57. 7
全 国	64. 6	57. 2
全国と本校の差	－5. 6	－5. 2

平均無回答率	国語	数学
本 校	5. 1	9. 4
三重県	4. 3	9. 9
全 国	4. 4	11. 2
全国と本校の差	0. 7	－1. 8

左の表のとおり、本校における各教科の平均正答率は、残念ながら国語、数学ともに全国の平均と5ポイント以上低く、三重県平均との比較においても国語（－4ポイント）、数学（－5.7ポイント）の差がありました。今年1月に行われた2年時の「みえスタディチェック」では国語（－5.1%）、数学（－8.8%）でしたので、いづれかその差は縮まったともいえますが、依然として課題が残る結果となりました。

右表：無回答率は、数値が高ければ解答を書いていない割合が高いことを意味しています。逆に数値が低ければ、生徒が最後まであきらめずに解答しようと頑張った結果といえるのですが、本校は、国語は無回答率が高く、数学は低い傾向がみられました。

単純に正答率や無回答率だけにとらわれず、本校生徒の傾向や課題をそれぞれの教科で分析し、保護者の皆様にお伝えするとともに、授業及び教育環境の改善に取り組んでいかなくてはならないと考えています。

「令和3年度みえスタディ・チェック」結果より R3.5.27 実施

「令和3年度全国学力・学習状況調査」と同じ日に1,2年生は「令和3年度みえスタディ・チェック」に取り組みました。「みえスタディ・チェック」は、子どもたちが主体的に学習に取り組む意欲を育むとともに、各学校での授業改善や個に応じた指導につなげるため、三重県教育委員会が実施しています。今年も全国学力・学習状況調査と同日に1,2年生を対象に行われました。本校の「みえスタディ・チェック」の結果につきまして、以下に掲載しましたので参考にしてください。

1年生の調査結果

平均正答率	国語	数学	理科
本 校	75. 2	57. 7	59. 5
亀山市	71. 5	58. 2	59. 8
三重県	70. 0	60. 9	58. 4
三重県との差	+5. 2	-3. 2	+1. 1

平均無回答率	国語	数学	理科
本 校	0. 9	2. 6	4. 8
亀山市	0. 79	2. 24	4. 09
三重県	1. 42	1. 56	3. 13
三重県との差	-0. 52	1. 04	1. 67

2年生の調査結果

平均正答率	国語	数学	理科
本 校	65. 0	46. 3	47. 8
亀山市	66. 1	47. 8	49. 4
三重県	65. 9	50. 6	51. 9
三重県との差	-0. 9	-4. 3	-4. 1

平均無回答率	国語	数学	理科
本 校	2. 6	9. 1	5. 5
亀山市	2. 55	8. 14	5. 91
三重県	2. 52	7. 70	5. 54
三重県との差	0. 08	2. 4	-0. 04

<1年生>

平均正答率では、国語と理科では県平均を上回りました。数学の無回答の状況を見ると、正答率の高い問題においては無回答が県平均よりも低くなっているのに対して、正答率の低い問題、つまり難しい問題に対する無回答率が高くなる傾向があります。問題に対する取り組み方というよりも、地力をしっかりとつけることが、無回答率を下げることにつながるのではないかと考えられます。全体として数学が苦手な傾向が続いており、習熟度別の学習形態が個々の課題解決になっていくよう取り組んでいきます。

<2年生>

平均正答率では、残念ながら3教科すべてで県平均を下回りました。中でも数学の苦手克服はやはり学校の課題といえそうです。数学の領域別にみた時に特に大きな弱点があるというよりは、全体的に低い傾向があるようですが、「数と式」の領域においては県平均との差が大きくありました。3教科ともに正答率の分布をみても全体的に低い方によっているようです。全体的な底上げが必要となります。